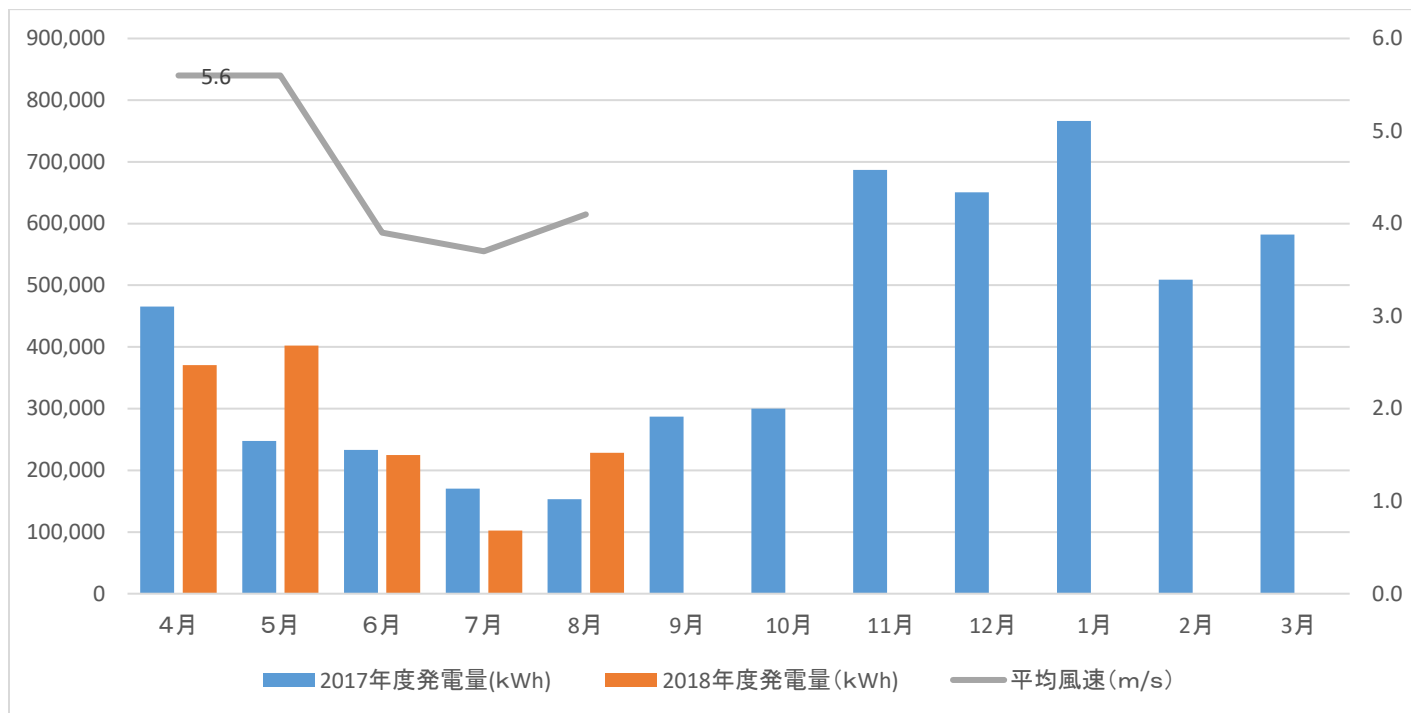


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 発電実績



8月度運転状況について

- 風況は前年に比べて0.6m/s 高い実績となりました。
- 風のエネルギーは風速の3乗に比例します。例えば風速が2倍だとエネルギーは8倍になります。
- 8月は風況が良かったため、発電量は昨年(2017年)の148.9%となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	370,505	5.6	96.6
5月	402,151	5.6	92.3
6月	224,714	3.9	98.4
7月	102,149	3.7	76.2
8月	228,380	4.1	96.9
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

グリーンファンド秋田理事会報告

2018 年 8 月 20 日、2018 年度第1回理事会を開催しました。

主な議案は、2018 年度第1四半期決算報告と高森風力発電所の入札の進め方、にかほ市でのおだやかな革命上映、象潟花火大会への協賛金、東日本大震災復興支援まつりへの協賛金などです。

第1四半期は、風況が良く、順調に稼働したことから、売電収入は前年比 105.4%の実績となりました。

組合員リーダーツアー実施報告 2

7 月 28 日(土)29 日(日)に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉の組合員リーダー対象としたツアーを開催しました。今回のツアーはドキュメンタリー映画「おだやかな革命」を巡る旅としています。先月に続いて、今号は 2 日目 7/29(日)の様子をご紹介します。



・高森風力発電所建設予定地見学

にかほ市院内地区にある「仮称高森風力発電所」の建設予定地を見学しました。

現在、北東北エリア電源接続案件募集プロセスが開始されており、東北電力との接続契約ができないため、高森風力発電所の建設はまだすすめない状況です。

建設場所では、風車の事業性評価のために実際の風を計測する風況ポールが建てられています。この風況観測ポール(写真)は、高さ 80mにある風速計と風向計でとったデータを通信で送るものです。2016 年 11 月から風況データを計測しています。

今は草木に覆われていますが、実際に風車が建つと、この場所から「夢風」の建つ海岸から由利本庄の海岸線まで見渡せる見晴らしの良い場所になるといいます。

また、院内にお住いのにかほ市役所企画調整部の佐藤次博部長にもご案内いただき、院内油田や集落の歴史などのお話を頂きました。

・元滝伏流水見学

にかほ市観光協会のガイドの佐藤さん、高岸さんに案内いただき、元滝伏流水を 2 チームにわかれて見学しました。

元滝伏流水は、鳥海山に染み込んだ水が長い歳月をかけ、高さ 5 m、幅 30mほどの岩肌一帯から伏流水となって湧き出ている滝で、その湧き水量は 1 日約 5 万トン、1 年中枯れることはありません。滝の上流にはにかほ市の水道水の源泉もあります。とても暑い日でしたが水辺は空気がひんやりと涼しく、豊かな水の恵みを実感することができました。



写真は、B 班の埼玉・千葉の参加者



午後からの鳥海山を挟んだ山形県・遊佐町では JA 庄内みどり遊佐支店の那須耕司課長（写真）にご案内をいただきました。

まず、箕輪鮭孵化場の牛渡川と丸池様の見学です。

牛渡川は、鳥海山の伏流水 100% の清流で梅花藻が花を咲かせていました。丸池様は、湧水 100% の池で、エメラルドグリーンに輝く水面が神秘的です。

映画では、生活クラブと遊佐町との水環境を守る活動も描かれており、豊かな清流として、箕輪鮭孵化場の産卵にのぼる鮭の群れが描かれています。

共同開発米部会の尾形長輝会長（写真左端）の無農薬田を案内いただきました。

ちょうどもうすぐ穂がでる時期で、これからお米が実っていくとの説明を受けました。この日は台風の影響で暖かい南風が強く吹いており、穂の出る時期には良くない風だとのことでした。

映画では、この無農薬田で生活クラブ埼玉の組合員が毎年行っている草取りの援農や、組合員と生産者との交流の様子が登場します。



・庄内・遊佐太陽光発電所建設地の見学

生活クラブ連合会の佐々木厳夫さんにご案内いただきました。

遊佐の月光川の上流の荒地だった約 31ha の土地に、18MW（太陽光パネル 66,440 枚）の太陽光発電所の建設工事が、2019 年新春の発電開始を目指してすすめられています。事業主体は㈱庄内自然エネルギー発電で、発電した電気の一部は生活クラブエナジーに売電され、「生活クラブでんき」として組合員へ届きます。現在、3/4 程のパネルの設置が完成したとのことでした。

組合員からは、太陽光発電に対して「発熱による環境影響は？」「廃棄の問題は？」など熱心に質問が出され、佐々木さんより丁寧にお答えを伺いました。



参加した組合員からは、「広さと大量のパネルが圧巻だった」「環境や将来的なリサイクルについても考えられていたので安心した」「自然環境に配慮した工事計画であることをご説明頂けて安心しました」などの感想を頂きました。

にかほ市でドキュメンタリー映画「おだやかな革命」の上映会を開催しました



2018年9月2日（日）に仁賀保勤労青少年ホームで、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会の主催の映画「おだやかな革命」の自主上映会が行われ、にかほの市の方々およそ100名の参加があり好評のうちに開催されました。

本田雅之副市長にも映画上映会に参加いただき、感想を頂きました。



左から半澤専務、渡辺監督、伊藤代表、荒川会長、尾形会長、那須課長

映画上映後にはトークイベントを開催し、半澤専務理事をコーディネーターに、渡辺智史映画監督と映画に登場するにかほ市の伊藤製麺所の伊藤代表、芹田自治会の荒川会長、遊佐町の共同開発米部会の尾形会長、JA庄内みどり遊佐支店の那須課長が登壇されました。

監督は、山形県鶴岡市に住んでおり、3.11以降、お金だけではない豊かさ、自然や本来大切にしてきたものの豊かさに多くの方が気づき始めている。これからどういう社会を展望するか、日本の地方から問い掛けたいという。伊藤さんからは、にかほ市にはたくさんの風車が建っているが、芹田にある生活クラブの風車は人の顔や思いが見える特別な風車だというお話がありました。半澤専務からは、今後、映画に登場している地域が参加し一同に介したフォーラムの開催やにかほ市、遊佐町との連携をもっと広げていきたいとの話があり、まとめとしました。

映画の前後で、マルシェも開催され、映画に登場する夢風ブランドの生産者連絡会と山形県・遊佐町の物産の販売を行いました。

にかほ市の皆さんに、生産者の物産をアピールすることができ、盛況でした。



左から映画パンフレット、西栗倉森の学校、遊佐町



左から伊藤製麺所、三浦米太郎商店、でんべいかれい生産グループ、日南工業、幸月堂菓子舗、四つ葉ネットワーク